

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 令和7年度第1回
開催日時	令和7年4月9日（水曜日） 午後7時00分から午後8時00分まで
開催場所	オンライン開催
出席者	委員：稲葉委員長、浅見委員、佐藤（鹿）委員、内海委員、秦委員 事務局：徳丸係長、玉根主事
議題	1 企画事業について 2 情報誌について 3 令和6年度第8回企画運営委員会会議録（案）の承認 4 その他
会議資料	1 令和7年度男女平等推進センター企画講座 提案 2 令和7年度男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書 3 令和6年度第8回会議録（案）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
○会議内容 《開会》 事務局：第1回男女平等推進センター企画運営委員会を開催する。 本日の委員会の人数の確認と会の成立について、8名中5名出席で委員会は成立とする。 1 企画事業について 事務局：令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。 進捗のご報告。今週末にエフェクチュエーション講座が行われる。38人の応募があった。 5月に行われるダンナシーハウスの講座が開催されるが何かあるか。 委員：対面の講座のため是非参加して欲しい。 事務局：パパの一步が未来を変える夫婦で作る幸せの形という産後クライシスの講演会を6月1日から募集を開始する。講座の先生と打ち合わせをした。どのような講座にしたいか。 委員：先生のお話があり、その後質問などを受け付け、参加してくれた人の話を交えながら、あまり堅苦しくない講座にしたい。 事務局：今回の講演会はオンラインで行われるためコメントなどで質問を募集して進めていく形になるかもしれない。 4つ目の講座の「思春期の子どもの本当の気持ちを知ろう」はまだ先生と打ち合わせをしていないためこれから話を進めていく。 5つ目の「3歳までの子育てで大切なこと」講座の進捗はいかがか 委員長：前回話に出ていた村田真由美先生の出演承諾を得られた。先生は現在谷戸に住んでいて西東京市に貢献したいと考えていた。先生は講演できる種類が3つある。一つ目が子育て講演、二つ目が保育士向けの講演、三つ目はサクランボリズム遊びという親子でリズム遊びを行い、絆を育む講演が出来る。そのためオンラインでも対面でも講演可能。サクランボリズム遊びは西東京市内の他施設で講演したことがある。他施設を借りてサクランボリズム遊びのような講座を開くのは出来るのか。 事務局：どのようなやり方が出来るか不透明なので委員を交えて講師の方と後日打合せをしたい。そのために連絡先を知りたい。 委員：承知した。 質問でエフェクチュエーション講座とパパの一步の講座はオンライン開催だが	

YouTubeに載せるのか

事務局：載せる予定はない。委員会の方々だけにはもしかしたらお見せできるかもしれない6番目の講座「15歳からの社会保障 人生のピンチに備えて知っておこう」の進捗はいかがか。

委員：社会保障を学ぶ講座を開きたいが、パリテで開けるのかどうか具体的には中高生でも親世代も社会保障について学べる講座を開きたい。

事務局：中高生世代は親と一緒に受けてくれるか難しそう。時間はあるためこれからまた話し合いたい。

委員：承知した。

事務局：7つ目のノーバディーズパーフェクト講座について、ほとんど内容は決まっているが話したいことはあるか。

委員：去年は会場が取れなくてショートバージョンだったが今回は会場が取れたためしっかり開催できる。

事務局：他に実施したい講座はあるか。

委員：NISAや就職活動に役に立つような企業分析ができる決算報告の読み方を学ぶ講座を企画した。企画した理由は二つあり、国の政策としても株が進められており、根拠のある株式投資が出来るようになるため。転職、就職の際に会社選びを失敗しないため。また、会計リテラシーは知っていて損はなく、学校では学べない金融について学ぶ機会を設けたい。

事務局：市でやるということになるとテーマの問題で具体的な市報までできるか分からない。課内で確認をして返事をする。
他に意見のある人はいるか。

委員：まだ企画書もなく、講師にアポは取れていないが、小さな食品サンプルを作る人を呼び、働く女性という意味でも、ライフワークバランスという意味でも、体験型講座を開きたい。

事務局：もし開くとするなら12月以降になるため、まだ開催まで時間があるため、企画書を書いていただいて、企画委員会で議論を進めていきたい。

委員：了承する。

企画についてはここまでとする。

2 情報誌について

事務局：35号ではLGBTQについて掲載する。今回から小学生にも配布をする。子供にもわかりやすく、親御さんにも理解してもらえるような記事を考えたい。委員会の皆様一人一人にLGBTQについて100文字から150文字程度でコメントをいただき、掲載をしたい。記事が出来上がり次第、委員の皆さんに全体のデザインを確認してもらいたい。

委員：了承する。

事務局：契約上年間4回、受託事業者に委員会に参加してもらうが、35号では一回だけ委員会に参加いただき、次回の36号の情報誌で3回参加いただくことで、委員の皆様と話し合いながら進めていきたい

委員：了承する。

3 令和6年度第8回企画運営委員会会議録（案）の承認

委員長：修正箇所はあるか。

委員より修正なし。

4 その他（次回開催日程ほか）

事務局：年間計画の確認。第2回委員会は6月11日。委員会の開催日は問題ないか。

委員：問題ない。

事務局：何か御発言がある人はいるか。

委員：二つあり、一つはもし金融リテラシーの講座がNGだった場合、ネットリテラシーの講座を開きたい。

金融リテラシーの講座が出来た場合は来年度に開きたい。ネットリテラシーの対象は中高生だけではなくその親御さんたちに向けてやりたい。

委員：小学6年生にもなるとほとんどの子どもがスマホを持っている。また、学校でもChatGPTを使う授業もあり、親世代のSNSへの理解を深めていきたい。

事務局：金融リテラシーとネットリテラシーの企画書をどちらもいただきたい。

委 員：了承する。

2つ目は、女性警察官の服装がスカートではなくズボンになったことを、男女平等という観点で掲載出来たらよいと思う。

事務局：職業という意味での男女平等は面白いと思うので、検討したい。

委 員：謝金が振り込まれていないことがあるため、振り込みが終わった連絡をしてほしい。

事務局：振込日にメールをするなどの検討をしたい。

委員長：では、本日は終了とする。ありがとうございました。

《閉会》